

株主通信 第34期中間事業報告書

(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

 **メック株式会社**

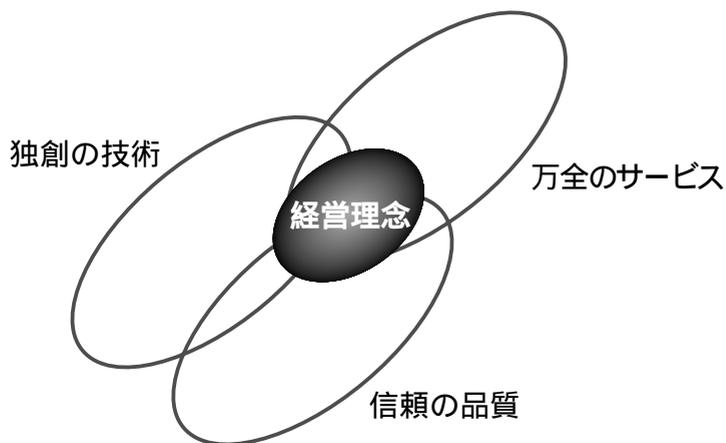
証券コード：4971

ホームページ：<http://www.mec-co.com/>

決算公告：<http://www.mec-co.com/jp/zaimu/>



社訓『仕事を楽しむ』



ご挨拶

株主の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜わり誠に有難く厚く御礼申し上げます。

当社の第34期中間期（平成14年4月1日から平成14年9月30日まで）の事業をご報告するにあたりまして、ひとことご挨拶を申し上げます。

前期は世界的な情報通信関連産業の急激な失速による非常に厳しい1年となりました。当期に入りましてからは在庫調整が一巡し、ようやく明るい兆しが見え始めたのも束の間、世界的な需要の停滞から設備投資も抑制されたままとなっており、日本国内におきましては電子基板業界の再編による生産設備の縮小、閉鎖が相次ぐ等当初の予想以上に厳しい経営環境が続いております。

このような状況を打開すべく、当社といたしましては、東アジア地域における販売力、技術サポート体制の一層の強化を進める一方、5月には昨年1月上場時の公募調達資金を投入した新研究棟も予定通り完成いたしました。これらを弾みとして電子基板製造工程における未開拓分野への新製品投入を積極的に取り進め、超精密の最先端技術にも着実に対応してまいります。

役職員一同「仕事を楽しむ」の社訓のもと、株主の皆様のご期待に沿えますよう全力で努力いたしますので、今後とも一層のご指導、ご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 最高経営責任者
前田 和夫

営業の経過および成果

当中間期の連結売上高は27億55百万円（前年同期比5.9%増）、連結営業利益は3億5百万円（前年同期比69.1%増）、連結経常利益は2億71百万円（前年同期比74.9%増）、連結中間純利益は1億27百万円（前年同期比52.7%増）となりました。当中間期の日本経済は穏やかな回復基調ではあるものの、内需の低迷や株式市場の不安定な状況のため、回復力は弱い状態に留まりました。欧州ではドイツの景気回復が一層弱まっており、予断を許さない状況であります。一方、東アジアでは中国の内需の拡大により景気は比較的堅調に推移しております。

エレクトロニクス業界は、デジタルテレビやデジタルカメラ、カメラ付携帯電話等の分野が比較的好調に推移しており、ようやく底を脱した感があります。

このような中、日本国内の電子基板業界は当中間期において関東を中心として27件の企業再編があり、汎用電子基板の生産拠点は中国移転が目立つようになりました。この動きは今後も続くと考えております。情報通信機器に用いられる高密度電子基板は比較的堅調に推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは中国での販売を軌道に乗せるべく経営資源の集中を行っております。また、同地域において華中地域の製造・販売を担当するメック中国が平成14年4月より操業を開始いたしました。販売面においては、中国を中心とする東アジアでの販売拡大を重点に取り組みました。製品開発につきましては、当中間期中に8件の新製品を上市し、特許は13件出願いたしました。当中間期に販売開始した黒化処理代替プロセスは、有力顧客において評価試験を開始する等将来の発展に繋がる確かな足掛かりが得られました。また、平成14年5月には研究開発棟の増設が完成し、これにより開発力を一層強化いたしました。東アジアでの販売拡大については、顧客の技術サポートを万全とすべく研究開発センターにカスタム・サポートグループを設置いたしました。また、最終顧客の動向把握等のマーケティング調査を世界的規模で行う部門として営業企画室を設置し、将来動向の把握に努めております。

当中間期の売上高の推移につきましては、顧客の設備投資意欲の悪化により電子基板用機械の販売が低下し、そのため汎用電子基板用薬品のフラックス剤やメタルレジスト剥離剤等の市場全体が落ち込んだため減少いたしました。また、その中で薬品価格の値下げがより一層強まってまいりました。しかし、その一方でCPU用パッケージ基板用途の銅表面超粗化剤CZシリーズは比較的堅調に推移いたしました。

対処すべき課題

当社グループを取巻く経営環境は主要な電子基板市場である日本・欧州・米国における景気の低迷の中、中国を中心と

る東アジアが活況を呈しております。そのため世界中の有力企業がこの地域を最も有力の成長市場と捉え積極的な投資が続いております。一方では、製品の品質要求や技術サポート競争に加え価格競争の激化など引き続き厳しい状態となっております。

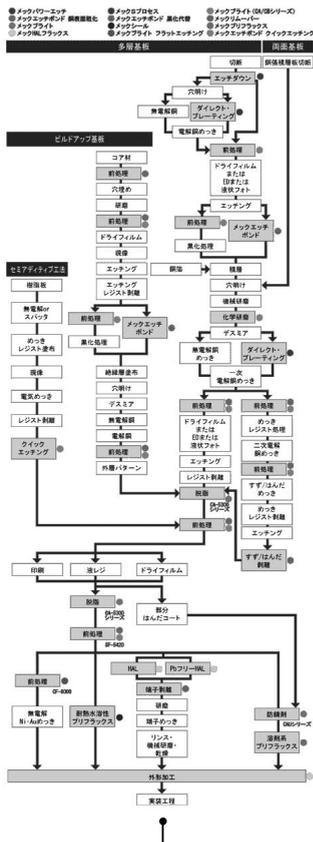
このような状況下において、当社の中長期的な展望及び対処すべき課題は以下の通りであると認識しております。

新製品販売力と新製品開発力の一層の強化
当社は、当中間期においてBOシリーズの黒化処理代替プロセスの新製品販売を開始いたしました。今後は、この有力新製品の早期の普及を図るため、研究・営業の両部門が一体となって、既存顧客に加えて潜在顧客企業に対する本格的なマーケティング活動に注力いたします。また、研究棟増築工事が平成14年5月に完成し、それを機に研究開発力の一層の強化を推し進めます。これにより、当社が強みを持つ先端基板分野での優位性をさらに高めるとともに、汎用基板向けにコストと使い易さに優れた製品の開発を重点目標とした研究開発にも取り組む方針であります。

海外事業の強化
中国の電子基板業界は、華南地域において活況を呈しており、華中地域では大規模な工場の建設が続いている状態です。当中間期において、メック中国（MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.）の操業を開始いたしました。メック中国は製品生産と販売機能を兼ね備えた製販一貫体制を整えております。当社グループは華南地域をメック香港（MEC (HONG KONG) LTD.）が、華中地域をメック中国が担当しております。中国の電子基板業界は、日本や欧州、米国の電子基板業界の再編が進む中、高い成長が予測されております。そのため華南地域における工場設置を視野に入れ、早い時期に実現することを前提に調査を開始いたしております。当社は今後とも中国市場のニーズにマッチした製品づくりと顧客サポートの徹底を図る所存であります。

ナノテクノロジーへの展開
ナノテクノロジーはナノメートル（10億分の1メートル）レベルで原子・分子を制御し、その物質の特性を活かす技術のことで、これまで限界とされていた技術開発のブレイクスルーが可能になり、その応用は材料・デバイスのみならず、光・IT・エレクトロニクス、医療、バイオ、環境・エネルギーなど幅広い分野に及ぶことが期待されております。このため先進各国では国をあげて研究開発力を入れております。この分野は、「日本が得意とする「ものづくり」技術を十分に活かすことができるだけに、ナノテクノロジーはわが国における最先端技術の生命線とも言われております。このような状況のもと、当社は中長期的な展望においてナノテクノロジーを用いた電子基板向け薬品の調査・開発に着手いたしました。

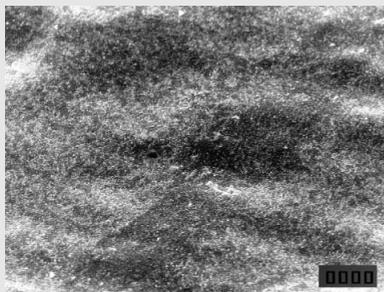
黒化処理代替薬品BO-7770Vの販売開始



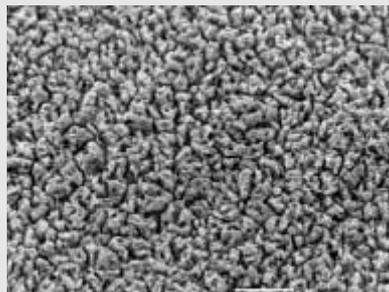
これは電子基板工程図を簡易的に表したものです。色づけされている工程にメックの薬品が使用されています。色づけされた工程を増やすため努力してまいります。

当社は黒化処理代替薬品BO-7770Vの販売を開始いたしました。黒化処理とは汎用多層電子基板製造に広く使用されている工程です。

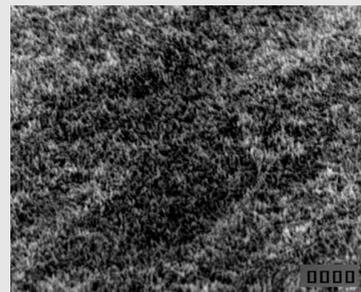
銅表面処理後の電子顕微鏡 倍率：3500倍)



銅表面未処理



BO-7770V処理後の銅表面



黒化処理後の銅表面

メック中国の操業開始



メック中国 (MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO.,LTD.) が平成14年4月より操業を開始いたしました。これに伴い当社、メック中国、メック台湾、メック香港が一丸となって全中国地域における当社薬品の市場占有率を飛躍的に拡大すべく全力を尽くしてまいります。

中間貸借対照表（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成14年9月30日現在	平成14年3月31日現在
資産の部		
流動資産	千円	千円
現金及び預金	2,869,551	3,228,515
受取手形	1,077,481	1,218,971
売掛金	524,780	576,901
有価証券	984,018	1,065,739
たな卸資産	50,000	100,083
繰延税金資産	139,974	106,354
その他	24,102	24,102
貸倒引当金	70,598	137,351
貸倒引当金	1,404	990
固定資産	3,387,018	3,237,118
有形固定資産	2,160,945	1,955,525
無形固定資産	68,109	34,115
投資その他の資産	1,157,963	1,247,476
資産合計	6,256,569	6,465,634
負債の部		
流動負債	1,439,417	1,371,285
支払手形	435,554	306,967
買掛金	134,584	140,978
賞与引当金	101,200	101,200
短期借入金	550,000	700,000
その他	218,079	122,138
固定負債	634,890	876,440
社債	200,000	200,000
長期借入金	200,000	200,000
役員退職慰労引当金	234,640	476,190
その他	250	250
負債合計	2,074,307	2,247,725
資本の部		
資本金		594,142
資本準備金		446,358
利益準備金		63,557
その他の剰余金		3,081,135
任意積立金		2,600,527
当期末処分利益		480,607
その他有価証券評価差額金		32,715
資本金	594,142	
資本剰余金	446,358	
資本準備金	446,358	
利益剰余金	3,128,534	
利益準備金	63,557	
任意積立金	2,800,278	
中間未処分利益	264,697	
その他有価証券評価差額金	13,226	
資本合計	4,182,261	4,217,909
負債・資本合計	6,256,569	6,465,634

中間損益計算書（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
売上高	2,142,610	3,945,039
売上原価	934,695	1,782,668
売上総利益	1,207,915	2,162,370
販売費及び一般管理費	1,035,124	1,868,988
営業利益	172,790	293,382
営業外収益	8,573	62,054
営業外費用	59,151	67,778
経常利益	122,213	287,659
特別利益	111,484	1,941
特別損失	121,793	32,410
税引前中間 当期 純利益	111,903	257,190
法人税、住民税及び事業税	51,669	131,361
法人税等調整額		24,900
中間（当期）純利益	60,234	150,729
前期繰越利益	204,463	329,878
中間 当期 末処分利益	264,697	480,607

中間連結貸借対照表（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成14年9月30日現在	平成14年3月31日現在
	千円	千円
資産の部		
流動資産	3,797,294	4,062,609
現金及び預金	1,548,535	1,770,381
受取手形及び売掛金	1,805,759	1,803,747
有価証券	50,000	100,083
たな卸資産	244,524	219,162
繰延税金資産	44,092	41,620
その他	114,198	136,325
貸倒引当金	9,816	8,710
固定資産	3,225,912	3,063,403
有形固定資産	2,387,313	2,148,429
建物及び構築物	1,184,090	704,397
機械装置及び運搬具	285,113	242,087
土地	795,977	795,663
その他	122,131	406,281
無形固定資産	112,722	82,177
投資その他の資産	725,876	832,795
繰延資産		3,199
開業費		3,199
資産合計	7,023,207	7,129,211
負債の部		
流動負債	1,790,645	1,666,906
支払手形及び買掛金	675,275	535,181
短期借入金	655,108	761,334
未払法人税等	99,998	58,170
賞与引当金	101,200	101,200
その他	259,063	211,020
固定負債	678,325	907,590
社債	200,000	200,000
長期借入金	226,247	218,408
役員退職慰労引当金	234,640	476,190
その他	17,437	12,992
負債合計	2,468,970	2,574,497
少数株主持分	37,633	36,508
資本の部		
資本金		594,142
資本準備金		446,358
連結剰余金		3,439,359
その他有価証券評価差額金		32,715
為替換算調整勘定		5,630
資本金	594,142	
資本剰余金	446,358	
利益剰余金	3,490,202	
その他有価証券評価差額金	13,226	
為替換算調整勘定	27,326	
資本合計	4,516,603	4,518,205
負債、少数株主持分及び資本合計	7,023,207	7,129,211

中間連結損益計算書（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成14年4月1日から平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から平成14年3月31日まで
	千円	千円
売上高	2,755,006	5,228,534
売上原価	1,156,430	2,336,931
売上総利益	1,598,576	2,891,602
販売費及び一般管理費	1,293,141	2,373,307
営業利益	305,434	518,295
営業外収益	26,287	82,384
営業外費用	59,916	70,666
経常利益	271,806	530,013
特別利益	117,955	2,440
特別損失	131,969	43,679
税金等調整前中間(当期)純利益	257,791	488,774
法人税、住民税及び事業税	128,265	214,524
法人税等調整額		10,614
少数株主利益	2,290	
少数株主損失		4,261
中間(当期)純利益	127,235	289,127

中間連結剰余金計算書

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成14年4月1日から平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から平成14年3月31日まで
	千円	千円
連結剰余金期首残高		3,298,705
計		3,298,705
連結剰余金減少高		
配当金		100,456
役員賞与		48,016
計		148,472
当期純利益		289,127
連結剰余金期末残高		3,439,359
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	446,358	
資本剰余金期末残高	446,358	
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,439,359	
利益剰余金増加高	127,235	
中間純利益	127,235	
利益剰余金減少高	76,392	
配当金	76,392	
利益剰余金中間期末残高	3,490,202	

中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中取 当期 純利益	257,791	488,774
減価償却費	109,446	205,973
貸倒引当金の増減 額	1,574	2,992
賞与引当金の増加額		1,600
役員退職慰労引当金の増 減 額	241,550	61,420
受取利息及び受取配当金	5,675	15,102
支払利息	7,025	17,180
投資有価証券評価損	763	29,110
生命保険解約返戻金	111,343	
新株発行費		1,567
売上債権の増(減)額	28,343	757,677
たな卸資産の増(減)額	27,230	28,145
仕入債務の増減 額	158,516	400,606
役員賞与の支払額	2,845	48,016
その他	33,244	8,609
小計	151,373	1,116,121
利息及び配当金の受取額	5,566	16,145
利息の支払額	6,477	17,535
法人税等の支払額	10,877	432,053
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,585	682,677
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入れによる支出	291,874	661,010
定期預金の払戻しによる収入	326,490	543,745
投資有価証券の取得による支出	6,645	14,435
関係会社株式の取得による支出		58,075
有形固定資産の取得による支出	386,988	586,586
有形固定資産の売却による収入	3,924	7,154
保険積立金の積立による支出	60,859	83,941
保険積立金の払戻しによる収入	236,446	
その他	11,889	19,490
投資活動によるキャッシュ・フロー	167,616	872,639

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
	千円	千円
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	48,454	161,876
短期借入金の返済による支出	151,900	254,135
長期借入れによる収入	7,406	201,025
長期借入金の返済による支出	3,564	104,555
株式の発行による収入		54,432
配当金の支払額	76,392	100,456
少数株主への配当金の支払額	1,225	
少数株主からの払込みによる収入		11,457
その他	2,945	33,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,167	63,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,039	28,664
現金及び現金同等物の減少	229,238	225,101
現金及び現金同等物の期首残高	1,209,409	1,434,510
現金及び現金同等物の中間期末 期末 残高	980,170	1,209,409

会社概要

会社概要 (平成14年9月30日現在)

商号 **メック株式会社**
本社 **兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル**
会社設立 **1969年5月1日**
資本金 **594,142,400円**
代表者 **代表取締役社長 前田 和夫**
事業内容 **電子基板製造用薬品、機械装置及び
各種資材の製造販売**

役員

取締役会長	前田 耕作
代表取締役社長	前田 和夫
専務取締役	内野 登一
取締役	平川 洋一
取締役	三田 明
取締役	溝口 芳朗
取締役	神田 寛
取締役	松下 太郎
取締役	牧 善朗
取締役	石井 正人
監査役(常勤)	坂本 幸雄
監査役(常勤)	藤山 正人
監査役	正田 武

事業所

東京営業所
東京都立川市栄町6丁目1番1号 立飛ビル7号館7階
TEL.(042)538-1080(代) FAX.(042)538-1090
新潟営業所/長岡工場
新潟県長岡市西陵町221番地36
TEL.(0258)47-2490(代) FAX.(0258)47-2492
西宮工場
兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番19号
TEL.(0798)46-8588(代) FAX.(0798)46-8688
研究所
兵庫県尼崎市東初島町1番地
TEL.(06)6401-8170(代) FAX.(06)6401-8172

海外子会社

MEC TAIWAN CO., LTD.
15 Nei-Hsi Street, Nei-Tsuoh Village
Lu-chu County Taoyuan Hsien, Taiwan 338 R.O.C.
TEL: 886-3-324-3455 FAX: 886-3-324-5228
MEC EUROPE NV.
Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium
TEL: 32-9-216-7272 FAX: 32-9-216-7270
MEC (HONG KONG) LTD.
Uint 02, 6/F., Grandtech Centre, 8 On Ping
Street, Siu Lek Yuen, N. T., Hong Kong
TEL: 852-2690-2255 FAX: 852-2690-2262
MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS(SUZHOU)
CO.,LTD.
No.155 Suhong Xi Road, Suzhou Industrial Park,
Jiangsu 215021 China
TEL: 86-512-6745-1990 FAX: 86-512-6745-1993
MEC USA SPECIALTY PRODUCTS INC.
540 Weddell Drive, Suite 7
Sunnyvale, CA 94089 USA
TEL: 1-408-752-0390 FAX: 1-408-752-0392

なお、MEC USA SPECIALTY PRODUCTS INC.は、平成14年3月31日
日から販売活動を休止し、同地域における販売業務は代理店が継続し
て行っております。

株式状況

株式状況 (平成14年9月30日現在)

発行済株式の総数 5,092,848株

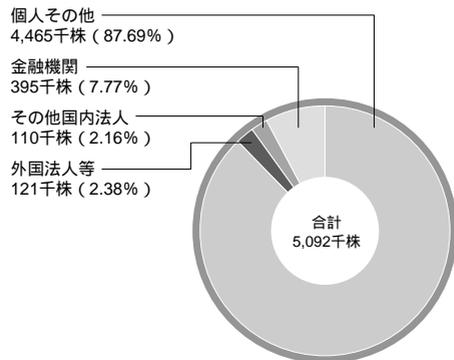
株主数 464名

大株主 (上位10名)

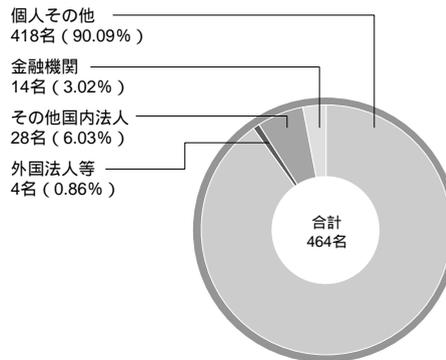
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
前田耕作	736	14.47
川邊豊	663	13.03
小林義雄	639	12.55
小垣守	594	11.66
腰高修	431	8.47
メック従業員持株会	298	5.85
前田和夫	160	3.14
株式会社三井住友銀行	77	1.51
エディデリック	70	1.37
株式会社UFJ銀行	64	1.25

株式分布状況

< 持株数別株式分布の状況 >



< 所有者別の株主数 >



料金受取人払

660-8790



差出有効期間
平成15年3月
31日迄
(切手不要)

兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地

アマックスビル

メック株式会社

社長室 行



お差し支え無ければお名前等をお知らせください

お名前							様
ご住所	〒 -						
電話	()	性別	1.男性 2.女性	年齢	満 才	ご職業	

株主メモ

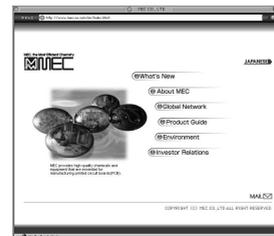
- 決算期 毎年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 1単元の株式の数 100株
- 配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当を行う場合は9月30日
- 基準日 定時株主総会については3月31日、その他必要ある場合はあらかじめ公告する一定の日
- 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番3号
UFJ信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所 〒541-8502
大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
UFJ信託銀行株式会社
大阪支店証券代行部
電話 06(6229)3011(代表)
株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部)
0120-68-4479(大阪支店証券代行部)
インターネットホームページ
<http://www.ufjtrustbank.co.jp/>
- 同取次所 UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
- 公告掲載新聞 日本経済新聞
- 上場証券取引所 大阪証券取引所ナスダック・ジャパン市場(12月16日よりヘラクレス市場に名称が変更となります)
- 証券コード 4971

MEC メック株式会社

本社

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル
TEL.(06)6414-3451(代)
FAX.(06)6414-3455

ホームページもご覧ください


<http://www.mec-co.com/>

 決算公告：<http://www.mec-co.com/jp/zaimu/>